

第 68 回町村議会議長全国大会

渡部孝樹 会長挨拶

全国町村議会議長会会長、北海道厚真町議会議長の渡部孝樹です。

本日ここに、「第 68 回町村議会議長全国大会」を開催するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本大会においては、次第を変更し、石破総理をはじめご来賓の国会議員の皆様には、ご多忙にもかかわらず、ご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

また、ご来賓の方々から心温まるご祝辞をいただき、深く感謝申し上げます。

私たち町村議会の活動へのご支援とご理解をいただけることは、地方自治の進展・発展と地域住民の生活向上にとって大きな力となります。

また、ご出席の町村議会議長の皆様には、全国各地からご参集いただき深く感謝を申し上げます。

日頃から、住民福祉の向上と地域の振興発展のため、献身的なご努力と情熱を傾けておられますことに心から敬意を表します。

全国町村議会議長会では、地方自治の振興発展に向け、政府・国会に対し、地方行財政制度の改革を訴え続けるとともに、それぞれの時代に応じた町村と町村議会を取り巻く諸課題の克服に向けて総力を挙げて取り組んで参りました。

多くの皆様方にご尽力いただいた結果、選挙公営の拡大、請負禁止の緩和、議会の位置づけ等の法律改正が実現したところであります。

本日の大会におきましても、全国926町村議会議長の総意を「特別決議」、「国の予算編成及び施策に関する決議及び要望」として採択する予定であり、そのうち、町村が直面する喫緊の課題につきましては、「スローガン」として掲げておりますので、これらの実現のため、皆様のご協力をお願い申し上げます。

本年1月、最大震度7を観測した「令和6年能登半島地震」では、石川県をはじめ広範囲にわたり甚大な被害が生じ、多くの尊い命が失われました。

また全国各地で、大雨、台風などの自然災害が相次ぎ発生し、能登半島地震の被災地も記録的な大雨に見舞われました。

お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に、心より

お見舞い申し上げます。

国民の生命・財産を守り、災害に強い強靱な国づくりを進めるためにも、皆様とともに防災・減災対策に取り組み、その強化を国に求めて参ります。

この度、第二次石破内閣が発足されました。

石破総理におかれましては、初代地方創生担当大臣をご経験されるなど、町村の立場を十分理解されておられることから、我々町村としては大変心強く感じているところであり、国と地方の連携のもと、山積する課題の解決に向けて強いリーダーシップを発揮していただけるものとご期待申し上げます。

現在、町村議会が直面している最大の課題は、議員のなり手不足問題です。

なり手不足は、一部の町村議会の問題だけではなく、地方自治の弱体化を招き、都道府県や国の危機にも繋がる重要な問題であります。

なり手不足問題には、様々な要因が絡み合っておりますが、その大きな要因の一つである議員報酬の適正化について取り組まなければなりません。

地方分権改革の進展や各町村議会における議会改革の取組により、町村議会議員の活動量は増加しておりますが、議員報酬の水準は 30 年以上ほぼ変化のないままとなっております。

議会・議員の活動及び議員報酬の水準については、各町村において判断するものでありますが、地方自治における議会の重要性を考えた場合、全国の町村議会が一定水準以上の活動をし、議員報酬の水準を確保していくことが重要であります。

また、議員のなり手不足問題の根底には、人口減少があります。

国全体として人口が減少し、東京一極集中が進む中では、地方の人口減少を町村の努力のみで解決することはできません。我が国のあり方の問題として国が責任をもって取り組む必要があります。今後とも議長会として国に対して強く要請していきたいと考えています。

このほか、町村の行財政 基盤強化のための地方交付税等の一般財源総額の確保・充実、デジタル社会の実現等、取り組むべき課題は山積しておりますが、皆様のご意見をお聞きしながら、適宜、適切な機会を捉えて、政府・国会等関係機関に対し、町村の声を届けていきます。

ふるさとをいつまでも限りなく思い続ける言葉、「愛郷無限」。私が日々心掛けてい
る政治理念です。

故郷を想う心なくして国を愛することはできません。また、故郷の発展なくして国を
豊かにすることはできません。

それぞれの地域を大切に想い、活動されている全国 926 町村議会議長の皆様と
共に、それぞれの町村の将来展望を切り開いていくことができるよう、一致団結して
邁進して参りましょう。

終わりに、本大会が所期の目的を達成できますよう、ご参集の皆様にご特別のご協
力をお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

本日は、どうぞよろしくお願ひいたします。